

多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導に関する
ワーキンググループの設置について

令和3年8月25日
生徒指導提要の改訂に
関する協力者会議決定

1. 趣 旨

児童生徒のいじめや不登校等の生徒指導上の課題については、様々な背景が複雑に関連しあい、その中には学校的背景のほかに、児童生徒が抱える障害や健康問題といった個人的背景や、家庭的背景等の児童生徒の置かれている環境も影響している可能性が指摘されている。

これら児童生徒の個人的背景や家庭的背景については、学校だけでは対応が困難な課題も含まれており、学校と関係機関が協働して、これらの背景に係る児童生徒が抱える問題の緩和等を図る必要がある。そこで、児童生徒が安心して学べる環境を整備する上での必要な留意事項等について検討を行うため、「生徒指導提要の改訂に関する協力者会議」の下に、有識者から構成されるワーキンググループ（以下、「ワーキンググループ」という。）を設置する。

2. 検討事項

- (1) 児童生徒の障害や健康問題といった個人的背景や家庭的背景等に係る問題を抱える児童生徒への指導にあたって留意すべき事項等について検討を行う。
- (2) その他

3. 実施方法

- (1) ワーキンググループの実施にあたっては、別紙の学識経験者等の協力を得るものとし、整理した検討事項について、「生徒指導提要の改訂に関する協力者会議」に報告するものとする。
- (2) 必要に応じ、ワーキンググループの委員以外の者にも協力を求めるほか、関係者の意見等を聞くことができるものとする。

4. 実施期間

令和3年9月8日から令和4年3月31日までとする。

5. その他

この会議に関する庶務は、初等中等教育局児童生徒課において処理する。

(別紙)

「多様な背景を持つ児童生徒への生徒指導に関するワーキンググループ」
協力者

(50 音順)

- | | |
|--------|--|
| 浅野 明美 | 全国養護教諭連絡協議会顧問 |
| 岡田 俊 | 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所知的・発達障害研究部 部長 |
| 奥村 理加 | 八王子児童相談所児童福祉相談専門課長 |
| 笹森 洋樹 | 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 発達障害教育推進センター 上席総括研究員（兼）センター長 |
| 野田 正人 | 立命館大学大学院人間科学研究科特任教授 |
| 藤田 絵理子 | 和歌山大学教育学部 附属三校教育相談コーディネーター |
| 八並 光俊 | 東京理科大学教育支援機構教職教育センター教授 日本生徒指導学会会長 |

【オブザーバー】

- | | |
|-------|----------------|
| 小野 憲 | 国立教育政策研究所総括研究官 |
| 滝 充 | 国立教育政策研究所客員研究員 |
| 宮古 紀宏 | 国立教育政策研究所総括研究官 |